

じんげん ア ジ ール asile

大谷大学広報誌
Spring & Summer 2011

巻頭インタビュー「新入生を迎えて」

自分自身と深く向き合おう4年間
人として豊かに成長する「学び」を

This theme

新入生を迎えて



学長

Kenshi-Kusano

Messenger

Interviewer

DJ

Chiyuki-Fukuoka

自分自身と深く向き合う4年間 人として豊かに成長する「学び」を

桜咲く4月、大谷大学は今年もたくさんの新入生を迎えました。
現在、ラジオDJとして活躍する卒業生・福岡千幸さんをインタビュアーとして
お招きし、草野学長に新入生に向けたお話を伺いました。

Question 01

高校までの学生生活とはガラリと変わる大学時代。どんな点が違い、これから何が必要になりますか？

学長 一番大きく変わるのは、やはり「学び」の在り方でしよう。高校まで教材は与えられるものでしたが、大学では自分自身で研究テーマを決めます。そして、「理解する、覚える」「学習から「考え、掘り下げていく」研究へと変わる。私が指導する歴史では、まず1年生に「本を見れば分かることは覚えなくてもよい。歴史的な事柄が起こったのは一体何故なのかを自分自身で考えなさい」と言います。

——高校までの歴史と言えば、年号を語呂合わせで必死で覚えていたものですが…。

学長 確かに(笑)。「大学の勉強は覚えることではない、自らの力で考えることだ」というと、学生たちは「ギョツとしますね。また、理解や記憶には到達目標がありますが、考えることには制限はなく、自分次第でどこまでも掘り下げていくことができます。最初は戸惑うかも知れませんが、そこに、大学での学びの面白さ、楽しさがあります。まずは与えられる教育から一旦解放され、のびのびした生活を楽しんで欲しい。そし

て新鮮な気持ちで学んで欲しいですね。

Question 02

カリキュラムや学習環境など、大谷大学ならではの特長、魅力についてお聞かせください。

学長 カリキュラムの面で一番の特長と言えば、本学の必修科目である「人間学」でしょう。私たちが考える「人間学」とは、ブツダと親鸞の生涯や言葉に学ぶことであり、専門性を深めるにあたって基礎となる人間的な教養のこと。文学部とは人文学：つまり、人間の問題を取り扱う学問です。宗教学や哲学、歴史学、社会学など、全ての学科がそれぞれのアプローチで「人間存在とは何か」「人間とはいかに生きるべきか」を問うていく。そうした専門研究の基盤となるのが「人間学」。基礎的な教養をしっかりと形づくり、その上で専門分野を深めて欲しいと思っています。

—— 学習環境の面では、私が在籍していた頃よりもさらに充実しているのを感じますが。

学長 まず総合研究室ですね。以前は専門ごとに分かれていた研究室を、すべてワンフロアに集結。資料なども集まる訳ですから、学科の壁をこえてさまざまな学問に触れられる

ようになりました。国内随一の専門書籍を所蔵する図書館でも、学生自らが書庫に入り自由に書物を探せるようになったのですが、最大のメリットは「意外な本を発見できる」ことですね。こうした環境では、限られた興味が新しい発見によって広がり、さらなる探求心を生み出してくれます。それは学問研究において、極めて重要なことなのです。また、本格的設備を備えた博物館では実際の展覧会準備を通して、生きた実践教育の場となっています。

—— 先生と学生、学生同士の距離が近いという点も、大谷大学の魅力ですよね。私自身、大学時代に大切な仲間がたくさんできました。

学長 現在、学生数は大学・短期大学と合わせて約3800なのですが、お互いの顔が見えるちょうどいい規模なのでしょうね。総合研究室に行けば、学科をこえ、学年をこえて、交流することもできます。そうした環境の中で人と人とのつながりを学ぶことも、大谷大学ならではの学習なのかも知れませんね。

Question 03

大谷大学ではどのような教育を目指し、また、学生にはどんなことを身につけて欲しいですか？

学長 近年では厳しい就職状況を背景に、「就業力を身につけた人材の育成」が声高に叫ばれています。そうした考えはややもすれば資格主義に陥ってしまう。大谷大学が目指すのは、「人材」ではなく「人物」の育成です。初代学長から受け継がれる「自分自身を深く見つめることができる人間を育てる」という精神は、これからの人生を力強く切り開いていく根元的な人間力を育んでいきます。新入生のみなさんには、その部分をよく理解してもらって、「人間学」を大事に聞いて欲しいですね。

—— そういう意味でも、授業はもちろんのこと、アルバイトや遊びなどを通してさまざまなことを学び、充実した生活を送って欲しいですね。

学長 そうですね。京都は豊富な文化財が溢れる、非常に恵まれた環境です。歴史遺産を訪ね歩くのも良いフィールドワークになりますし、経験の一つひとつが豊かな人間形成につながります。烏丸北大路という利便性の高い立地を活かして、4年間を大いに楽しんで欲しいと思います。そして、そのなかで自分のこと、人間のことを一生懸命考える時間を大事にしてもらいたい。それがきつと、生涯にわたってあなた自身の生きる力となっていくでしょう。



草野 顕之(くさの けんし)

1976年3月大谷大学文学部(史学科)卒業。1981年3月同大学院文学研究科(仏教文化専攻)博士課程満期退学。2003年博士(文学)(大谷大学)。学生部長、学監・文学部長などを歴任し、2010年4月より第27代学長に就任。
専門分野/日本仏教史(中世)・真宗史

福岡 千幸(ふくおか ちゆき)

1997年本学文学部(社会学科)卒業。2007年よりFM京都でDJとして活躍。現在は、『SUNNYSIDE BALCONY(毎週11:00~16:00オンエア)』の水曜日を担当し、京都の町のグルメ、カルチャーなどさまざまな情報をリスナーに届けている。



谷大を楽しもう！ 私たちのキャンパスライフ



はくそうかん
博綜館
1F

保健室 学生相談室 人権センター

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。



2号館
1F

実習支援 センター



幼稚園・保育所の実習についてのアドバイスをしてもらえます。ささいなことでも学生の立場で一緒に考えてくれるので安心して相談できます。

井上 加奈子
(幼児教育保育科 第2学年)



✿ 尋源館 (じんげんかん)



私が出会った先生は、南無阿弥陀仏が本当の私自身であることを教えてくれました。尋源館はまもなく100年を迎えます。平日朝8:40より2階講堂にて勤行。

軌保 祐貴
(大学院修士課程 第2学年)

しじょうかん
至誠館
1F

教務課 学生支援課 キャリアセンター



学生生活や授業、進路で困ったこと・トラブルに巻き込まれたときに、みんな親身になって相談のしてくれます。何か困ったことがあれば至誠館1階窓口へ。

生田 沙希
(人文情報学科 第2学年)



✿ 聞思館 (もんしかん)



聞思館は大学の中心地にあります。聞思館は先生たちの部屋があります。色んな学科の先生の部屋があるので興味がある人は一度行ってみるべきです。

吉田 恵理(国際文化学科 第4学年)

1号館
1F

Big Valley Café (学生談話室1)



学生に優しい毎日変わる100円パンがお買い得! コーヒーとの組み合わせも絶妙です。友達との会話を楽しむ落ち着いた空間です。

浦野 雅至(教育・心理学科 第3学年)



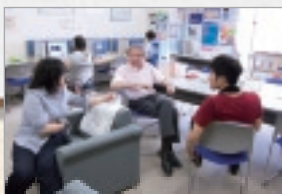
こうりゅうかん
響流館
3F

GLOBAL SQUARE



外国に興味がある、語学が好き、留学がしたい! などなど。GLOBAL SQUAREで世界を広げてみませんか? みんなとは少し違った楽しい学生生活がおくれますよ!

坂元 美紗子(国際文化学科 第2学年)



北大路VIVRE バスターミナル スターボックス



❖ 部室棟



部室棟はクラブの部室がある建物で、“BOX”と呼ばれています。4月に見学ツアーをしますので、クラブに入りたい人はぜひ参加してください!
城島 朱里(哲学科 第3学年)



❖ 学内書店(文栄堂) B1F



雑誌、小説、エッセイなど様々な種類の本が特別割引価格で購入することができます。また、買いそびれた講義用教科書も購入することができるので非常に便利です。
小出 未奈実(人文情報学科 第4学年)



❖ 購買部(セブン-イレブン) B1F



ここでは、大学に必要な文房具やレポート用紙まで手に入れることができます。一人暮らしの人には嬉しいカップ麺なども安く買えるので、ドンドン活用しよう!
池浦 侃太郎(教育・心理学科 第3学年)



講堂棟 B1F 学内食堂



カウンター席とテーブル席があり、学生の憩いの場として使われています。メニューも低コストで種類も豊富で大谷大学ならではのものもありますよ!!
桐木 陽介(人文情報学科 第4学年)



日替わり定食は安くおいしく、同じ値段でご飯の大きさを選べるからお得です。うどんとそばはなんと70円!小腹が空いたときにお勧めです。
細川 智斗世(人文情報学科 第4学年)



4号館 1F 教職支援センター



事務の方や相談員の先生方が、教職や進路について親身になって相談ののってくれます。奥の資料室には教育・心理に関する参考書も多数取り揃えてあります。
秋田 聡子(教育・心理学科 第3学年)

こうるかん 響流館 3F 総合研究室



みんなが自由に使用できるスペースであり、パソコンも使用できます。特に試験期間中はたくさんの人が利用し、活用しています。新入生の皆さんもぜひ利用して下さい。
池田 佳奈美(国際文化学科 第4学年)



こうるかん 響流館 1・2F 図書館



学術書を始め、雑誌等のメディア、学生の希望した本などがあります。また本の探し方講座といったイベントも行われています。ぜひ利用してみてください。
饗庭 圭輔(哲学科 第4学年)



こうるかん 響流館 1F 博物館



博物館には新鮮な発見が!規模は小さいですが、大学の中に博物館があるのはラッキーなことです。身近な場所で十分に「歴史」を満喫できますよ!
松井 恵里(歴史学科 第4学年)



This theme

キャリア

CAREER

若年層の雇用問題が深刻化するなか、

文部科学省などの関係省庁は「若者自立・挑戦プラン」を策定。

今、社会が要請する“社会人・職業人としての自立”を目的とした

「キャリア教育」について語り合いました。

社会が求める 「キャリア教育」とは

富岡 文科省を初めとする関係省庁は、「キャリア教育」について「社会人基礎力」や「就業基礎能力」として数項目の育成を設定しています。大谷大学における「キャリア教育」はいかがでしょう？

木越 本学でも「キャリアデザインリレー講義」や「キャリアデザイン概論」などのカリキュラムや、インターシップの促進、資格取得のサポートなど、さまざまな取り組みを行っています。しかし、そうした施策を述べる前に、明確にしておきたいのは「大谷大学が考えるキャリアとは何か」ということです。赤井さんは「キャリア」という言葉にどんなイメージを抱いていますか？

赤井 正直、漠然としています。個人的には、高学歴やブランドといったイメージですが、言葉としては「職業」とか「経歴」という意味です。よね？



木越 そうです。「職業的なスキルを身につける教育」と捉える人も多く、もともと広く、「自分の人生をどう考えるか」ということを視野においた教育だと私は思います。

富岡 今、社会が求めている人材も、単にスキルが高いとか専門知識を持っているだけではない気がしますね。

木越 就職を意識して職業的スキルを追求する学校もあるでしょうが、働く上でスキルはあくまでも「手段」の一つ。何のために働くのか、自分はどう生きるのかという「目的」……つまり精神性の育成がなければ、本当の意味で「社会人・職業人としての自立」にはつながらないと思います。

働くこと、

生きることの意味

富岡 赤井さんは大学コンソーシアム京都のインターンシップで、東映京都撮影所の仕事を体験されたと聞き



ましたが、実際の現場に触れてどうでしたか？

赤井 多くのことを学びましたが、一番の収穫は、「モノを創り上げる」という仕事の喜びを実感できたことです。映画制作という華やかなイメージの裏には、地道な努力と苦勞があります。それでも懸命に頑張れるのは、「人に喜んでもらえる」という大きな喜びがあるから。就職活動では、ともすれば企業の知名度や待遇などにとらわれがちですが、本当に大切なのはそこではないんですね。

木越 人が働く意味とは、自分の生活のためだけではなく、「他者のために生きる」という大きな志や喜びだと思います。その目的を自ら見出す精神性と、それを実現するための手段としてのスキル……その両面の育成が、「キャリア教育」とも言えるでしょうね。

赤井 「キャリアデザインリレー講義」で、講師として招かれたある企業の方がおっしゃった「仕事は向き不向きではなく、前向き」という言葉が今も心に残っています。能力はも





前学生部長
真宗学科 准教授
木越 康
写真右

広報編集委員
幼児教育保育科 講師
富岡 量秀
写真左

国際文化学科
第4学年
赤井 貴絵
写真中央

ちろん大切だけど、一番大切なのはつねに前向きに頑張っていくこと。その言葉を、インターンシップで実感できたと思います。

富岡 自分の仕事が周りの仲間やお客様、ひいては社会にどうつながっていくのか…それを感じ取る力がやりがいになり、自分の将来を考える上で、また働く上で、とても重要ということなんじゃないかな。

木越 そういう「つながりを感じる力」が欠落したとき、さまざまな社会問題が起ころ。スキル偏向社会の弊害とも言えます。大谷大学は仏教に根付いた学びで、過去から現在、未来へのつながり、自己と他者、自己と社会、自己と世界を関係づけていく力を大切にします。そこに大谷大学ならではの教育があり、未来を担うべき、豊かな人間性を持つ人材を輩出していくという誇りを感じます。

自らの力で 未来へ漕ぎ出す力を

富岡 そういう意味では、大谷大学の「キャリア教育」は、特定のカリキュラムや取り組みだけでは語りきれないですね。

木越 仏教学や歴史、哲学、国際文化学、人文情報学など、すべての学問が「人間力」の育成につながっている。

ます。だからこそ、今後の課題は、私たち教員の意識改革です。教育の内容を変える必要はありませんが、「社会に出る人材を育てる」という視点を持つて教育に臨むべきでしょう。

富岡 キャリアに関する情報発信を行う事務局や、父兄の方々との連携ももっと綿密にしていきたいですね。

赤井 学生自身ももっと積極的になるべきだと思います。私自身もそうでしたが、1・2年の時は、将来についてほとんど考えていませんでした。難しいですが、もう少し意識しておけば、講義の内容ももっと違った視点から捉えられたのかな…と。

木越 そうですね。これまでの皆さんをイメージすると、小学校、中学校、高校、大学と、自動的に「バス」に乗って運ばれてきた。でも、大学という停留所を降りると、もうバスは迎えに来てくれない。今度は自分自身で自転車を漕いでいかないとけない。そのことを意識して有意義な4年間を過ごしてもらいたいですね。

富岡 自らの力で自転車を漕ぐための精神力・技術・体力を身につけるわけですね。

木越 そうです。知識やスキルも大切ですが、自らの人生を考え、行動していく力…人として力強く生きていく力の育成こそが、大谷大学の「キャリア教育」の柱だと思います。



長年ビジネスの現場で活躍された実践的な視点からの指導は、学生自らが考え行動する力

池田先生が担当される「情報デザインコース」は、人間主体の情報システム構築を目指し幅広い技術を身につける学問。その授業は多くの学生から「面白い！」と大人気です。その理由のひとつは、私たちの身近なところから研究テーマを解き明かしていくスタンス。映画やブログなど馴染みのあるものを教材にし、私たちが興味を持って取り組める学習環境を作ってくれます。

を育んでくれます。授業中は真面目な目そのものですが、とても気さくで「お茶目」な面も…。難解なテーマでもいつしか自然と引き込まれ、楽しく学んでいます。そんな中でさらに期待が高まるのが、4月からスタートするiPadを使った授業です。これまでの紙教材は固定された情報を一方的に受け取るものですが、iPadは柔軟かつインタラクティブ性を持つ電子デバイス。先生によると「授業中にコメント投稿や小テストもできる」とのことですが、ますます学生が主体的に参加する活気ある授業になりそうです。その他、学科内ではWebコンテンツの作成や動画制作などの授業もあるので、期待は膨らむばかり。豊富な経験を持つ

ビジネス経験に基づいた実践的な指導と魅力的な人柄で、「授業が面白い」と大人気！

“ 私たちの先生 ”



● 紹介してくれた人文情報学科のみなさん

写真左より 下村翔大さん・富澤めぐみさん(2011年3月卒業)/嘉陽宗介さん(第3学年)/美濃佑輔さん(第4学年)/稲田恵莉さん・井花祐太さん(第3学年)

池田先生の指導のもと、新しい研究テーマにどんどんチャレンジしていきたいですね。

人文情報学科 教授
池田 佳和

国際電信電話 (KDD) 執行役員、日本インターネットエクスチェンジ (株) 社長等を歴任し、東京工業大学大学院理工学研究科特任教授、国立情報学研究所客員教授を経て、2008年4月本学人文情報学科に教授として着任。
専門 / 情報通信工学
ビジネス開発

先生から 学生たちへの メッセージ

新時代の教育改善を推進するため、2011年4月から導入する高性能モバイル端末「iPad」。教材としての機能的なメリットはもちろん、自ら動かし楽しむことによってスキル習得の意欲を与え、また、情報リテラシーに優れた社会人、賢い消費者の育成につながるものと期待しています。さらに、「iPad」は今後の日本の教育現場や社会をも大きく変えていくデバイスであり、その使い方はまだまだ未知数。使いこなすことによって新しい発見があるはずですから。これからの世代を担う学生たちのアイデアで、ぜひ「iPad」の新しい可能性を世の中に発信してください。



キャリアガイド

今年の就職環境は？

1 昨年と同様、厳しい就職環境

今年の就職環境は、先行きが不透明な経済情勢の中で企業が採用に慎重なため、昨年と同様大変厳しい状況といえます。このように景気不安が就職難の大きな原因ではありますが、それだけではありません。実は、多くの学生が働くことや志望動機が曖昧なまま応募しているという、企業が求める人材と応募者とのギャップがなかなか内定を得られない、もう一方の原因ともいわれています。

2 キャリアセンターを活用しよう

そこで、キャリアセンターでは、皆さん一人ひとりが社会のために何ができるかを問う自己分析や、社会が皆さんに何を期待しているかについての正しい認識を持っていた

くなど、働くことや職業についての理解を深めていただくための支援を行っています。

また、求人情報の提供や就職活動に必要なスキルやマナーを身につけるためのさまざまなプログラムを用意しています。キャリアセンターは、みなさん自身のみならずからの人生を切り拓くために、ときにはやさしく、ときには厳しく支援していきます。どうぞキャリアセンターを十分に活用してください。

インターンシップ VOICE

私は大学の制度を利用して、京都中央信用金庫のインターンシップに参加しました。実際に企業で働くことで、業務内容を知るだけでなく、説明会では知ることのできない企業独自の雰囲気を感じることができました。また、他大学の学生と共に働くことで、自分に無い考えなど、新たな発見がたくさんありました。将来、社会人として働く自分がイメージできたことで、就職活動をする方針がはっきりしたので、参加して本当によかったです。

2010年度インターンシップ参加
国際文化学科
第4学年

奥村 巧



先輩から就職活動の厳しさを聞いていた私は就職活動に不安しかなく、そんな時に友達からインターンシップに参加してみないかと誘われました。宇多野病院でのインターンシップでは、学生の立場で社会人としての生き方を近くで見て知ることができ、とても貴重な経験となりました。この経験は就職活動での自信にも繋がり、5月に無事内定をいただくことができました。就職活動は大変ですが、皆さんも頑張ってください！

2009年度インターンシップ参加
国際文化学科
2011年3月卒業

長谷川 美咲



内定獲得
採用試験
合格のミカタ!

キャリアセンターのサポート

詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/03>

本学への求人情報は、「進路・就職システム(大谷大学就職ナビ)」で公開し、携帯からもアクセスすることができます。また、資本金や経営業績など企業情報も提供しています。

卒業後の人生設計を考えながら目標をもって大学生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるため、インターンシップなどキャリア形成支援プログラムを提供しています。

	求人情報・企業情報の提供		キャリア形成支援プログラムの実施
	個別相談・面接指導		就職ガイダンスや各種対策講座の開催

キャリアアドバイザーが進路相談や応募書類の作成・模擬面接など、学生一人ひとりに応じたアドバイスを行っています。

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるための情報提供や、就職活動に必要なスキル・マナーを身につけるための実践講座を開催しています。

キャンパストピックス

Autumn ▶▶▶ Winter
2010-2011

TOPICS

トピックス

10月12日(火)～11月28日(日)

新発見された

親鸞真筆の断簡を

2010年度特別展

「親鸞—その人と生涯—」で

特別出陳

親鸞真筆資料の発見について、10月12日(火)、報道関係者説明会で発表しました。調査を担当した草野学長は、「親鸞の真筆自体がなかなか出現しない非常に貴重な資料であり、その原本が発見されたことは歴史的に意義深いものがある。また、親鸞が抜書した箇所が教義的な解明など、今後の研究にも大きな影響を与えるものである」と語りました。

新発見された資料は、

本学博物館

2010年度特別展

「親鸞—その人と生涯—」に出陳されました。

ました。



11月12日(金)～11月14日(日)

2010年度

大谷大学学園祭

「紫明祭—縁Joy—」

2010年度の大谷大学学園祭「紫明祭」は、『縁Joy』をテーマに開催しました。プロアーティスト「Michi」による無料LIVEでは、学内外の来場者約800人が熱気に包まれ、また、東本願寺の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌のマスケットキャラクター「鸞恩くん・あかほんくん・連ちゃん」も登場、子どもたちに風船をくばり、大いに紫明祭を盛り上げてくれました。様々なイベントを通じて、参加者との「縁」を感じる充実した学園祭でした。



12月1日(水)

2010年度課外教育行事

—異文化との出会い—

マレーシア映画

『ムアラフ 改心』上映

ヤスミン・アフマド監督作品であるマレーシア映画『ムアラフ 改心』の上映会を開催し、約150名が参加。上映前には、チャネルアジア代表の且匠子氏から、マレーシアが多民族・多宗教である現状や、ヤスミン・アフマド監督の特徴・視点を解説いただいた。異文化理解について深く考えさせられるものとなりました。



12月12日(日)

2010年度第2回

留学生文化交流会を開催

河西キャンパスセミナーハウスで「もちつき大会とお正月の遊び」をテーマに留学生文化交流会を開催しました。風揚げやいろはかるた、こま、けん玉といったお正月のあそびや、もちつきを通し、外国人留学生と日本人学生がお互いに交流を深め、参加者全員大いに盛り上がる楽しい一日となりました。



その他2010年度のニュースはこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2010>

※学生の学年は、大会時のものです。

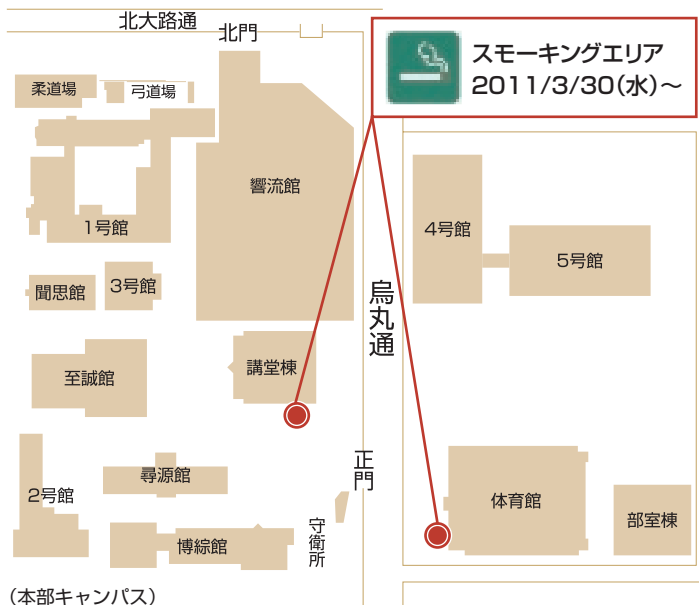
2010年度秋季大会結果

<p>バレーボール部</p> <p>関西大学バレーボール秋季リーグ戦(男子) 7部 準優勝(6部昇格)</p>	<p>剣道部</p> <p>関西優勝大会(男子) 団体ベスト16 関西学生剣道新人大会(男子) 団体ベスト16 京滋学生剣道新人大会(女子) 団体ベスト8</p>	<p>サッカー部</p> <p>第88回関西学生サッカーリーグ(後期) 3部 優勝(2部昇格) 得点王/佐武球久(国3) 大会優秀選手/藤原純輝(社4)、竹下賢司(社4) 松原祐樹(国4)、中西一馬(人3) 佐武球久(国3) ベストマネージャー/奥村俊(真4)</p>	<p>卓球部</p> <p>関西学生秋季リーグ戦(男子) 4部Aブロック 3位</p>
<p>バドミントン部</p> <p>関西学生バドミントン秋季リーグ戦(男子) 6部Cブロック 準優勝(5部昇格) 京都学生バドミントン選手権大会(男子) 男子シングルスBクラス 優勝 岡本大輔(文4) 京都学生バドミントンクラス別大会(男子)</p> <p>関西学生バドミントン秋季リーグ戦(女子) 6部Bブロック 優勝(5部昇格) 京都学生バドミントンクラス別大会(女子) 女子シングルスBクラス 優勝 村松実歩(教1)</p>	<p>硬式野球部</p> <p>京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 1部 5位</p>	<p>バスケットボール部</p> <p>関西学生男子バスケットボールリーグ戦 5部Bブロック 5位</p> <p>関西学生女子バスケットボールリーグ戦 3部Aブロック 14位</p>	<p>空手道部</p> <p>第53回全関西空手道選手権大会 2部Bブロック 一回戦敗退 ベスト16</p>
	<p>跆拳道部</p> <p>第5回青龍会オープンテコンドー選手権大会 準優勝(南木心(真2) 一般男子初級 58キ口級) 3位(中村広紀(仏2) 一般男子初級 58キ口級)</p> <p>"2010"リンクステコンドーフェスティバル 3位(南木心(真2) 一般男子中級 58キ口級)</p>	<p>陸上競技部</p> <p>第47回関西学生陸上競技学年別選手権大会 個人(男子3000m障害) 6位入賞 新田義樹(真2)</p>	



Campus Information

キャンパス内の全面禁煙について



喫煙は「がん」などの生活習慣病を引き起こす原因になります。また、喫煙しない人への受動喫煙は、現在社会問題になっています。

『健康増進法』においても、「多数の人が利用する施設の管理者は受動喫煙の防止に努めなくてはならない」と規定されています。

本学でも、教育機関としての責任を果たすため、2011年度よりキャンパス内を原則全面禁煙とします。

学生・教職員各位にはご協力をお願いいたします。

※ただし、近隣の方のご迷惑とならないよう、各キャンパス出入口付近に1カ所(湖西キャンパスはセミナーハウス玄関前)のみ、スモークエリアを設けます。喫煙者はマナーを守ってください。

2011年度イベント予定

4月9日(土)

若葉祭

新生に大谷大学のキャンパスライフを知ってもらうための楽しいイベントです。キャンパスは、クラブ・サークルの紹介や勧誘などでとてもにぎわいます。



課外教育行事 - 異文化との出会い -

課外教育行事 - 異文化との出会い - は、世界の様々な文化を知ることを目的に、映画や音楽、講演を実施しています。詳細については、日時や内容が決定次第、ホームページや掲示などでお知らせします。



詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/2011>

2011年度博物館開館予定

春季企画展

大谷大学のあゆみ
— 歴代学長の肖像 明治・大正・昭和 —
2011年4月1日(金)～5月14日(土)

夏季企画展

仏教の歴史とアジアの文化 XV(仮)
2011年6月3日(金)～8月7日(日)

特別展 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念

親鸞 — 真宗本廟の歴史 —
2011年10月11日(火)～11月28日(月)

秋季企画展

仏教の歴史とアジアの文化 XVI(仮)
※実習生展併催
2011年9月6日(火)～9月24日(土)

冬季企画展

京都を学ぶ(仮)
2011年12月13日(火)～
2012年2月18日(土)



詳しくはこちら → 大谷大学ホームページ

<http://www.otani.ac.jp/01>



本学では、在学生の言葉による表現意欲を奨励することを目的に、文芸作品を募集しています。この「文芸奨励賞」では、自分の専門分野のみの学びにとどまらず、文芸作品を創る楽しさを体験し、将来の目標達成のための自己実現をめざし、一人ひとりの持つ幅広い能力と個性をおおいに発揮されることを願っています。

今年度は、昨年度と同様のテーマ「未来のわたしへ」で、未来のわたしへ伝えたいことを50字以内の自由表現で募集いたしましたところ、昨年度の203名を大きく上まわる321名の応募がありました。選考の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名、佳作10名が選ばれましたので、以下のとおり受賞作品をご紹介します。

応募作品の講評等につきましては、本学ホームページをご覧ください。

* 最優秀賞

友田 拓斗 【人文情報学科 第4学年】

強い人になれ
大切な人を包み込めるように
弱い人になれ
一人で生きていかなないように

* 優秀賞

北澤 光祐 【教育・心理学科 第2学年】

十九の夏
泣いている子どもの頭をなでた
泣いてた子どもの笑顔みた
覚悟を決めたオトナの君になる覚悟

永治 貴子 【仏教学科 第4学年】

自分を変えなかった過去の私
誰にもなれなくて今の私になった
だけど「これが私」と
未来に胸を張っている

* 佳作

磯嶋 あかり 【哲学科 第2学年】

生まれてきてくれてありがとう
母にそう言われた二十歳の誕生日
明るくないと思つてた未来が
もうこわくない

片山 真枝 【歴史学科 第1学年】

辛いことも、苦しいことも
その全てが今の私を創つたの。
だから大丈夫。
今を生きた私がまた私を創るから。

菊池 洗人 【史学科 第4学年】

えつあきらめたの？
あなたは本当に自分には
才能が無いと言えるだけの
努力はしたのかな？

倉田 和樹 【哲学科 第4学年】

誰にも内緒だが、
とうとうタイムマシンを完成させた。
今から会いに行きますから、
住所教えてください。

澤木 亜紀穂 【人文情報学科 第1学年】

何してますか？
ちゃんと前向いて歩いてますか？
大切なもの手離してませんか？

杉本 恭子 【文学科 第1学年】

「大勢の中で
独りになつてしまふのではなく、
大勢の中の
一人として立つ事ができていますか？」

竹内 ひかり 【哲学科 第1学年】

未来を変える力を付ければ、
過去を変えられる力も付くと私は思う。
過去も素敵にできるよう、今頑張ろう。

西本 貴則 【哲学科 第1学年】

未来の君のことを考えると
思わず今この瞬間を
ぎゅつと抱きしめたいくなる。
僕は君の為に生きるよ。

宮田 瞳 【歴史学科 第1学年】

世の中が暗くても
光ある人になつていて…。

山田 晶子 【文学科 第3学年】

あと何回卵を溶けば、塩を振れば、
祖母がつくってくれた
あの卵焼きに近づくだらうか、
と私は今日も卵を巻く。



部局長の交代

【学生部長】

古川 哲史

(前学生部長 木越 康)

2011年4月1日付

契約期間満了による
退職

【教育職員】

マイケル J. コンウェイ

(任期制助教)

竹花 洋佑 (任期制助教)

戸次 顕彰 (任期制助教)

朴 珣英 (任期制助教)

林 千宏 (任期制助教)

松金 直美 (任期制助教)

箕浦 尚美 (任期制助教)

【事務系嘱託】

荒木 さとみ (企画入試部)

大橋 美香 (総務部)

櫻井 真実 (教育研究支援部)

永井 詞子 (教育研究支援部)

長野 美穂 (企画入試部)

村上 力 (企画入試部)

【寮監】

北條 いづみ (自灯学寮)

目崎 明弘 (貫練学寮)

【校医】

宇佐 晋一

【学生募集アドバイザー】

佐々木 かなこ

2011年3月31日付(各通)

依願退職

【事務職員】

竹越 義明 (教育研究支援部)

2011年3月31日付

新規採用

【教育職員】

プレストン L. ハウザー

(教授・文学部)

福島 栄寿
(准教授・文学部)

ダシユシヨバ
ラニ
(講師・文学部)

新田 智通
(講師・文学部)

三浦 誉史加
(講師・文学部)

上野 牧生
(助教・短期大学部)

【事務職員】

荒木 さとみ
(学生支援部)

村上 力
(学生支援部)

児玉 佳
(企画入試部)

小林 千紗
(教育研究支援部)

野村 壮典
(企画入試部)

福村 愛
(学生支援部)

松浦 健
(教育研究支援部)

松尾 奏子
(企画入試部)

【寮監】

天山 信楽 (貫練学寮)

亀山 幸恵 (自灯学寮)

【校医】

市来 和政

【教職アドバイザー】

馬場 信行

2011年4月1日付(各通)

昇格

【教授】

李 青 (文学部)

【准教授】

太田 智子 (短期大学部)

鈴木 寿志 (文学部)

廣川 智貴 (文学部)

箕浦 暁雄 (文学部)

【講師】

西本 祐攝 (短期大学部)

2011年4月1日付(各通)

2011年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2011年度の授業料のスライド率は、2010年度と同様0.00%とし、据置きとします。また、施設費および大学院の授業料も据え置き、2010年度と同額とします。

本学では、学生の皆さんの学費を有効に利用し、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために様々な事業を実施しています。

人文情報学科では、2011年4月から学生全員にiPadを配布し、新しいスタイルの教育・研究プログラムをスタートさ

せ、高度なIT活用ができるエンドユーザーの育成に取り組んでいきます。

施設面では、講堂の音響・録音・録画設備を、講演会等をインターネット配信することができる機器へ更改するなど、情報環境の充実をはかっています。また、すべての学生が快適なキャンパスライフを過ごせるように、引き続きトイレを改修しバリアフリーを進めます。

キャリアセンターでは、現況の厳しい就職環境に対応したキャリア支援・就職支援を強化し、新たに導入した就職支援システムを利用して学生のニーズに応じた支援対策をはかっています。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(水)〔後期は9月30日(金)〕〔銀行受付日付有効〕です。

振込依頼書は、保証人(学費負担者)宛に4月1日〔後期は8月末日〕に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。

なお、振込依頼書が届かない場合や紛失、破損している場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月20日(水)〔後期は9月30日(金)〕までに行ってください。学費延納手続には、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2011年度学生納付金一覧			学 費		その他の費用					合計額
			授業料	施設費	大谷学生会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会 入会金	※同窓会 終身会費	
前期	文学部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大学院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
		修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
	短期大学部	仏教科、文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
幼児教育保育科		397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000			
後期	文学部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	(5,000)	(30,000)	516,000 (551,000)
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	(5,000)	(30,000)	591,000 (626,000)
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大学院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000			316,000
		修士・博士後期課程 (2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	(5,000)	(30,000)	356,000 (391,000)
	短期大学部	仏教科、文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	(5,000)	(30,000)	516,000 (551,000)
幼児教育保育科		397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	(5,000)	(30,000)	526,000 (561,000)	

※文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。

※休学をする場合は在籍料として60,000円(学部学科共通)の納入が必要です。納入期日は4月20日(水)〔後期は9月30日(金)〕です(締切日厳守)

※修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

教育後援会だより

2010年度 教育後援会事業について

教育後援会の趣旨に基づき、就職支援としての各種模試・セミナー等に対する補助、奨学金・奨励賞の給付・貸与、食堂のセットメニューや日替わりパンへの補助、クラブ・サークル運営費や連盟加盟費等の一部補助、父母兄姉懇談会開催等の活動が行われました。

*詳しくは、8月発送予定の「教育後援会報告書」にて報告いたします。

◆2011年度行事の開催案内

北海道地区 父母兄姉懇談会	7月16日(土)	札幌グランドホテル (北海道札幌市)
	7月17日(日)	旭川ターミナルホテル (北海道旭川市)
評議員会	6月29日(水)	大谷大学(京都市)
全国父母兄姉懇談会	9月24日(土)	大谷大学(京都市)
四国地区 父母兄姉懇談会	12月3日(土)	ロイヤルパークホテル高松 (香川県高松市)
	12月4日(日)	高知サンライズホテル (高知県高知市)

2010年度 父母兄姉懇談会 開催報告

9月25日(土)、大谷大学において「全国父母兄姉懇談会」が開催されました。第Ⅰ部は大学側からの説明に続き、個別相談会並びに施設見学等が行われました。第Ⅱ部は会場を市内ホテルに移し、教員と直接お話をする和やかな懇談の場となりました。

7月には東京都と秋田市において、「関東地区並びに東北地区父母兄姉懇談会」が開催され、12月には静岡市と名古屋市において、「東海地区父母兄姉懇談会」が開催されました。



全国父母兄姉懇談会全体会の様子



東海地区父母兄姉懇談会の様子

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人(父母兄姉等約4,000名)が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催して様々な事業計画を企画・推進しています。

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

また、本学は文部科学省から「特定公益増進法人」の認可を受けていますので寄付金には税法上の優遇措置(減免税措置)が

受けられます。年間を通じて、募金のお申込を受付けておりますので、何卒ご支援賜りますよう、よろしく願い申しあげます。

2010年8月1日から2011年1月31日までの間に、ご寄付をいただいた方々のご芳名は下記のとおりです。厚く御礼申しあげます。

●●● 教育振興資金寄付者(敬称略)

青木 哲心(北海道)	木下 敦子(和歌山県)	豊田 健治(岐阜県)	松村 徹(兵庫県)	本覚寺[渥美 芳映](石川県)
浅田 純(長崎県)	紺屋 良一(滋賀県)	仲 恭伸(和歌山県)	三井 英俊(愛知県)	西念寺[梅溪 得文](岐阜県)
芦田 潔(京都府)	佐々木 元(岐阜県)	難波 明則(大阪府)	美濃 裕士(大阪府)	正敬寺[草野 文明](長野県)
天山 敬信(愛知県)	佐治 有孝(愛知県)	野坂 栄次(福井県)	宮東 匠美(京都府)	浄雲寺[相馬 温](大分県)
池浦 リエ(奈良県)	杉本 稔(福岡県)	蓮井 道雄(福岡県)	村山 秀映(新潟県)	聖徳寺[嶽小原 晃](鹿児島県)
井上 雅之(山形県)	高村 延芳(京都府)	日野 康宣(愛知県)	山田 武司(大阪府)	大牟田教会[深谷 尊仁](福岡県)
梅原 達三(京都府)	瀧山 すはの(富山県)	平野 雅彦(静岡県)	山外 恭久(滋賀県)	円徳寺[藤谷 伸宏](山形県)
江崎 国昭(福岡県)	竹浪 達朗(青森県)	藤井 守(岡山県)	吉川 久雄(京都府)	称念寺[松村 一哉](神奈川県)
遠藤 一成(京都府)	辰井 景時(大阪府)	藤坂 初裕(富山県)	和田 一馬(滋賀県)	真宗寺[森口 達](北海道)
岡本 紘(大阪府)	巽 正俊(大阪府)	堀内 稔夫(大阪府)	匿名(1名)	
奥林 暁(大阪府)	田原 英二(山口県)	本間 正順(新潟県)	大和電設工業(株)	
小野内 悦二郎(京都府)	寺岡 聡(京都府)	松井 秀宣(島根県)	栩谷 晴雄(京都府)	
笠岡 良澄(京都府)	寺田 彰(石川県)	松代 暢(石川県)	(有)江戸前おでん深谷	
亀田 治利(大阪府)	暉 了(新潟県)	松永 茂樹(京都府)	深谷 淳一(北海道)	

◆ 件数 63件
◆ 寄付金総額 4,570,000円

●お問い合わせ先
教育振興資金事務局

〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内
TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyu@sec.otani.ac.jp

「グズな私とのつきあい方」

学生たちに「やるう！と決意したのにやらずに終わったこと」を聞いてみた。断トツは資格試験の勉強。就職対策、ダイエットや禁煙などの健康系、貯金、恋…と、イマドキ学生を読み解くキーワードが続く。誤解のなきよう繰り返す。そう、これらは学生たちが実行できなかったこと。「言う」とするとの間には大海原がある」とはイタリアの名言だとか。ごもつともだが、耳も心もチクリと痛む。

取り組む必要があることを行わない、あるいは遅らせる行動を心理学では「先延ばし」として、抑うつや不安などの否定的感情との関連性を示唆している。この現象、巷では「グズ」と呼ばれ、その対策本も散見される。

そもそも、グズは進化の過程で獲得したスキルという説がある。敵に気付かれないよう、そつと陰から様子を見守る。つまり「何もしない」ことが生存には必要であった。そのプログラムが、脈々と受け継がれているならば、グズな私も仕方ないか…と、あきらめるのはまだ早い。

ここで、少し脳のお話をしよう。先延ばしとは、脳の司令塔とされる前頭前野

(おでこ付近)と、感情の中核である扁桃体(奥の方)との脳内バトルによるもの。やんちゃな扁桃体に前頭前野がすっかりお手上げとなった状態なのだ。詳しくは心理学の講義で説明するとして、脱グズのヒントは感情の制御にあるようだ。

ノロノロしているうちに、頭の中は、やらない言い訳であふれかえる。そうなる前に、四の五の言わずに動いてしまおう！最初の一步を踏み出せば、案外進むものだ。実は、この原稿もしかり。

春は自分を変える節目としての好季。「新年度はこれをやるぞ！」そして、速やかに実行に移すこともお忘れなく。スタートを切ったあなたは、もうグズではない。そういえば、年の始まりにも、同じようなことを言っただけ…？いいのいいの、私たちの目標なんて、変幻自在なお月様みたいなものだから。



教育・心理学科 准教授
田中 久美子
専門分野 / 社会心理学
教育心理学

時代を照らす仏教のことば

遇^あいがたくして
今^あ遇^あうことを得たり。

聞きがたくして
すでに聞くことを得たり。

親鸞「教行信証」総序(真宗聖典)150頁

解説文はこちら → 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/0911>

編集後記

今回の特集記事「キャンパスマップ」では、学生の皆さんにキャンパス内の色々な施設を紹介してもらいました。それぞれの施設を活用し、充実した楽しい学生生活を送ってくださることを願っています。

(編集担当)

